

パソコンに突然現れるセキュリティ警告画面

◆『サポート詐欺』が急増中！！

パソコンなどでインターネットを使用中に突然「**ウイルスに感染しています**」などの偽警告画面や警告音が出て、あわてて表示された電話番号に電話をかけると、有償サポートやセキュリティソフトなどの契約をするよう誘導されたという、いわゆる『**サポート詐欺**』に関する相談が寄せられています。



◆消費者を不安にさせる手口

偽警告画面には、実在するセキュリティソフト会社などのロゴマークがそのまま使われていたり、操作しても警告画面が消えないなど、消費者を不安にさせる様々な細工がされています。

また、電話では「このままでは個人情報流出する」「パソコンが動かなくなる」などと説明をしてさらに消費者の不安をあおり、すぐに対応しなければならないと思込ませ、有償サポート費用やウイルス除去費用などの名目で金銭を要求します。

消費生活センターからのアドバイス



★信頼できるセキュリティソフトをインストールしておきましょう

ウイルス対策には、あらかじめ信頼できるセキュリティソフトをインストールしておき、突然現れる警告画面の指示に従わないようにしましょう。併せて、表示されたロゴマークのセキュリティソフト会社などの公式ホームページで詐欺に関する情報がないか確認すると安心です。

★電子マネーのカード番号は伝えないようにしましょう

支払い方法として、コンビニなどで販売されているプリペイド型電子マネーで支払うよう指示されるケースが多いようです。プリペイド型電子マネーは、券面のカード番号だけで利用ができるので『**番号を教えるように**』と指示する事業者は疑ってください。



★特に高齢者の被害が増加中

偽警告画面はインターネットを利用する人ならば誰でも遭遇する可能性がありますが、特にパソコンに操作に不慣れた高齢者の被害が増加しています。自分だけで詐欺か判断できない場合は、周りの人や、消費生活センターに相談しましょう。